

環境にやさしい

# 非開削技術

No-Dig Today —— 道路を掘らない技がここにある

季刊  
2024  
Jan.  
No. 126

JAPAN SOCIETY FOR  
TRENCHLESS TECHNOLOGY

## 表紙の写真

超泥水加圧推進工法は昭和56年（1981）に佐賀市の下水道汚水幹線工事ではじめて採用されました。平成8年（1996）に（社）日本下水道管渠推進技術協会（現（公）社）日本推進技術協会）が泥濃式と分類し、以降、泥濃式が大口径管推進工法のシェアを拡大し現在6割を超えています。

超泥水加圧推進工法の施工実績も2023年3月末で累計3,810件、施工総延長929,777mに達しています。



超泥水加圧推進協会

## 目次

3	● 令和6年 年頭のご挨拶	(一社)日本非開削技術協会会長 森田 弘昭
4	● 写真速報 非開削技術見学会を開催/No-Dig Mexico2023 ISTT総会・発表会・展示会/2023東京水道展/「管路更生大学」公開デモ施工を開催/第34回非開削技術研究発表会(2023年)/CTSTT会長Yi-Fung Wang氏が来訪/第14回ICPTTを開催	
9	● 特集/大口径管路の非開削建設技術	
	● 特集のねらい	エクシオグループ(株)(機関誌編集委員) 河西 一嘉
10	・アルティミット工法における特殊条件下での施工	機動建設工業(株)土木本部技術課課長 須藤 洋
16	・泥水式推進工法(管周混合推進工法)による高崩壊性細砂地盤の施工事例	(株)福田組土木部技術企画部次長 桜井 良一
24	・超泥水加圧推進工法における長距離・多曲線施工事例	大和技建(株)営業部次長 吉田 孝治
31	・土質が変化する長距離推進を大口径ラムサス工法で施工	サン・シールド(株)代表取締役 米森 清祥
36	・狭隘空間でのハイブリッドモール工法による大口径管推進工事	アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部(西) 川越 勇
43	・長距離・急曲線施工に最適なミニシールド工法と水道管布設工法のDXR II工法—第1号工事から50年の歩み—	(株)クボタ建設土木設計部長 成島 照和
48	・NS(ニューセーフティ)推進管用に使用するゴム輪について	コーワ化成(株)営業部第1営業グループ担当課長 藤本 隆史
52	● 談話室 老後の趣味探し(そばとの出会い)	大和技建(株)関東支店支店長 黒田 博之
54	● 海外イベント報告 第39回国際No-Digメキシコ2023国際会議・展示会の参加報告	(一社)日本非開削技術協会国際部長 平野 美礼
59	● 国内イベント報告 ・福島第一・第二原子力発電所の視察を終えて	中日本建設コンサルタント(株)事業推進室・副室長 長谷川 孝
63	・福島第二原子力発電所見学会	新日本設計(株)関東事務所技術部 加藤 裕治
67	・下水道管路管理技術施工展2023高知開催	(公)日本下水道管路管理業協会常務理事 井坂 昌博
70	・2023東京水道展 取材メモから	機関誌編集室/事務局
77	・「管路更生大学」公開デモ施工見学報告	機関誌編集室
78	・第34回非開削技術研究発表会	アイレック技建(株)非開削推進事業本部 津田 真彦
82	● 知って得するシリーズ バスのあれこれ 第9編 バスの「2024年問題」	川崎地質(株)大谷石採取場跡地観測所 大村 猛
89	● UP DATE	
90	● Back Number	
93	● 委員会	
94	● 編集後記	(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長(機関誌編集委員) 山長 聖和

※ 特集および投稿記事は、著者の責任において執筆された記事であり、必ずしも日本非開削技術協会の見解ではありません。